

「成田空港と千葉県経済の 飛躍的發展に向けた提言」 について

2011.12.22

ちばぎん総合研究所

1

提言の背景

- 当初企画(本年初): 30万回地元合意を活かした千葉県経済の飛躍的發展を目指す。
- 大震災・原発事故後の見直し: 需要減少により需給バランスは悪化、羽田再国際化の影響が大きく出てくる可能性が強まる。
- 当面の脅威を十分認識した上で、お客様(旅客、貨物)にこれまで以上に成田空港を利用してもらうことを県内一丸となって目指す。

2

首都圏空港の需給バランス

3

成田空港年間発着枠と 航空旅客数

- 国際線年間発着枠
- 年間発着枠22万回時(A):20万回
- 年間発着枠30万回時(B):27万回
- B/A 1.35倍

4

成田空港年間発着枠と 航空旅客数

- 航空旅客数
- 平成10年度(A) : 32.5百万人
- 訪日外国人1500万人時(B): 39.4百万人
- 2500万人時(C): 49.3百万人
- 3000万人時(D): 54.2百万人
- B/A 1.2倍
- C/A 1.5倍
- D/A 1.7倍

5

羽田空港年間発着枠

- 羽田空港国際線年間発着枠
- 羽田空港再国際化時(A): 6万回
- 羽田空港最終形 (B): 9万回

6

(補足資料)

成田空港利用状況

インターネットによるウェブアンケート調査結果(暫定)

9

成田空港利用状況

インターネットによるウェブアンケート調査結果(暫定)

(成田、羽田空港の利用者の居住地)

- 6割は1都3県。
- 茨城、栃木、群馬は1~2%
- 大阪、北海道、愛知、兵庫、福岡が4~2%

↓<必要な対策>

- 1都3県のアクセス強化
- 国内線の拡充

10

成田空港利用状況

インターネットによるウェブアンケート調査結果(暫定)

(首都圏人口と利用者居住地、構成比、%)

	人口	利用者
• 東京都	10.3	29.4
• 神奈川県	7.1	15.6
• 千葉県	4.9	9.1
• 埼玉県	5.6	7.7
• 茨城県	2.3	1.9
• 栃木県	1.6	1.5
• 群馬県	1.6	0.9

11

成田空港利用状況

インターネットによるウェブアンケート調査結果(暫定)

(成田から羽田へのシフトの可能性)

- 5割強
- 理由は圧倒的にアクセス利便性(9割以上)
- 引続き成田は1割強(どちらでも良い3割)

↓<必要な対策>

- 羽田にない路線、サービス・商品、魅力
- アクセス強化
- 新規利用者開拓

12

成田空港と千葉県経済の 飛躍的発展に向けた提言

13

(1) ユーザーの目線に立った 成田空港の機能強化

- ① 多様な航空需要への対応強化
(LCCのシェア拡大)
 - 既存の公共交通からの顧客シフトや新たな観光需要の創出
 - 専用ターミナルの設置や着陸料の低減
(ビジネスジェットへの対応強化)
 - FBOの設置や駐機期間の制限撤廃

14

(1) ユーザーの目線に立った 成田空港の機能強化

② 国内線の拡充による内際乗り継ぎ利便性の向上

(国内定期便の拡充)

- 成田(8都市9路線29便)は関西(11, 11, 43)、中部国際空港(17, 17, 74)比低水準
- 地方空港の国際定期便増加(仁川経由欧米に)

(LCC活用等コスト面の配慮)

15

(1) ユーザーの目線に立った 成田空港の機能強化

③ 運用時間

(例えば深夜便の1時間緩和を優先)

- 深夜早朝の貨物、ビジネス需要を取り込めず
- 神戸港は阪神・淡路大震災をきっかけに釜山港に
- 地元等の見直し要望
- 2009/12月成田空港圏自治体連絡協議会
- 2011/8月千葉県経営者協会

16

(1) ユーザーの目線に立った 成田空港の機能強化

- ④ セキュリティチェックの段階的緩和
 - 日本国内で唯一の検問実施
 - ネガティブな気持ち→「行ってみよう」に
 - 商業・サービス施設の充実(対羽田空港の国際線ターミナル商業スペース)
 - 電車来場者の緩和、警備員へシフト、機械警備

17

(2) 人流・物流の増加を 地域活性化につなげる仕組みづくり

- ① 総合特区を活用した企業誘致の促進
 - 空港・物流・ホテル⇔製造業(特に機械)が見劣り
 - 最近の工場立地も少ない(10年、千葉県21件、茨城県39件)
 - 「国際戦略総合特区」と「地域活性化総合特区」の活用(自由貿易地域、国際ビジネスカンファレンスセンター、医療系大学・病院支援)

18

(2) 人流・物流の増加を 地域活性化につなげる仕組みづくり

② 複合施設(MICE等)の整備

- 千葉県、成田市とも国際会議の開催少ない
(2009年、千葉県99件、東京都505件、
大阪府183件、愛知県137件)
- 東京都の競合施設が先行(東大他)
- 幕張メッセと県内大学の連携
- 新しい複合施設のスピーディな整備

19

(2) 人流・物流の増加を 地域活性化につなげる仕組みづくり

③ 健康・美容ツーリズムの振興

- 千葉県への外国人観光入れ込みは低水準
(浅草寺は成田山新勝寺の約6倍)
- 情報発信力の強化
- 独自の観光資源・メニューの創出
- ちばアクアラインマラソン
- ヘルスケアツアー(木更津)

20

(2) 人流・物流の増加を 地域活性化につなげる仕組みづくり

④ 圏央道の早期開通

- 千葉県内(大栄JCT～松尾横芝IC)は茨城・埼玉県方面(14年度には全通の予定)比遅れが目立つ
- 埼玉県内には物流拠点立地の動き(インランドデポ)

21

(3) 官民一体となった 広域的な支援組織の確立

- 提言の推進のため、空港や地元自治体をはじめ県内経済界が一体となって取り組むことが必要。広域的な支援組織の確立が急務。
- 総合特区の指定にも地域協議会の設立が前提
- 開港までの歴史的経緯や騒音区域の居住者に対する配慮

22